フィリピン JET プログラム参加者の帰国報告会を開催!!

シンガポール事務所

1 フィリピン JET の帰国報告会

2019 年 11 月 4 日、フィリピンのマニラ市内でフィリピン JET プログラム参加者(以下「JET 参加者」と言う。)の帰国報告会が開催されました。

在フィリピン日本国大使館、クレアシンガポール事務所そして昨年設立されたフィリピン JETAA(元 JET 参加者の同窓会組織)により共同で開催された今回の会は、フィリピン政

府や教育関係者、現地の日本人学校の方々にご 参加いただき、帰国した1名の JET 参加者を 歓迎しました。

今年帰国したレイエス・レジーナ・アンジェリカ氏は、2016 年から 2019 年までの3年間、京都市内の高校で ALT として勤務しました。報告会では、勤務していた学校で学んだことや、一緒に過ごした生徒・同僚との思い出について話をし、3年間過ごした京都の素晴らしさも語られていました。



日本での経験を紹介するレイエス氏

2 JETAA の今後の活動

同日の帰国報告会前には、設立から約1年が経過するJETAAフィリピン支部の定期総会が開催され、これまでの活動の振り返りと今後の活動計画についての議論がなされました。今後の活動計画については、今年も実施した新規JET参加者へのサポートや、大学等におけるJETプログラムの広報活動への協力に加え、各メンバーの住んでる地域で開催される日本関連イベントに参加し、日本の文化や地域の魅力を発信していく活動を実施していく方針が決定されました。



報告会の翌日に開催された 大学での JET プログラム広報の様子

フィリピン JETAA は、設立からまだ間もなくメンバーは今年帰国したレイエス氏を含め 7名とまだ少人数ですが、日本には現在 138 名のフィリピン JET 参加者がおり、今後多く の帰国者が見込まれます。

JET プログラムへの参加を通して日本の地域の魅力に触れた JET 参加者は、帰国後も日本のファンとして母国と日本とをつなぐ架け橋となりうる貴重な存在ですので、クレアシンガポール事務所はフィリピン JETAA の活動を支援しつつ、彼らと協力しながら日本の地域の魅力発信に努めてまいります。

(池上調査役 兵庫県派遣)

(井上所長補佐 宮崎県派遣)

(中間所長補佐 宮崎市派遣)

